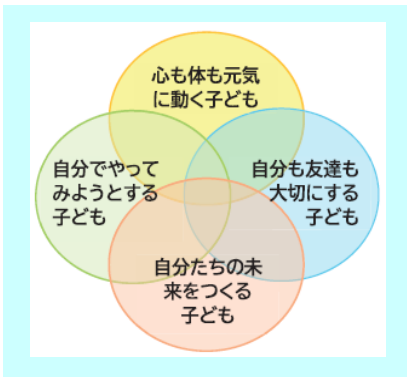


千代田区がめざす子どもの姿



つなぐ つながる（学校区の特徴やねらい・共通の視点など）

人・体験・学びを結び、安心の土台の上で……“知識の前に体験を”「感じる・気づく・試す」を積み重ねて「わかる・できる」へ。

九段小学校区全体の実態

【家庭の実態】

- ・ 人の出入りが多い／官舎が多い：新しい人を自然に受け入れ、親しみをもって関係を築く風土がある。一方、在籍期間が短い家庭もあり、つながりの継続性が揺れやすい。
- ・ 地域参加の二極化：地域行事に積極参加の家庭と、出会いが少ない家庭に分かれる傾向。

【子どもの実態】

- ・ 室内遊びが得意／巧緻性が高い：作る・描く・組む・考えるなど、手先の器用さと集中が強み。
- ・ 戸外経験が不足：危険察知・体の使い方・基礎体力に課題。ケガにつながる動きや安全の見通し不足が見られる。
- ・ 知識先行・経験不足：頭では知っているが、実体験の蓄積が薄く、試行錯誤や粘りが育ちににくい。

	I期（4月～5月中旬） 環境に慣れ、安心を土台に主体性が芽生える期	II期（5月下旬から7月） 挑戦する気持ちが高まり、自分で進めようとする期	夏の期（7月～8月） 体験が広がり、感性や探究心が豊かになる期	III期（9月～12月） 仲間と関わりながら、一緒に考え、遊びや生活をより豊かにしていく期	IV期（1月～3月） これまでの経験をもとに、生活や遊びを組み立てるとともに、小学校への期待感を膨らませる期
子どもの姿（ねらい）	新しい環境の中で安心して過ごし、年長児として主体的に生活や遊びに取り組む。 『適応・探究の芽生え』 ・新しい環境に慣れつつ、自分の居場所や友達関係を探し始める ・年長児としての自覚が育ち、活動の幅が広がり始める 自信をもって年長としての役割に向かい始める	様々な活動に意欲的に挑戦し、友達と関わりながら自分でやり遂げようとする。 『挑戦・自立の伸び』 ・意欲的に新しいことに取り組み、自分でやり遂げようとする力が高まる ・仲間との協働が安定し、集団での活動が活発になる 自分なりの目的をもち、友達と考えを出し合いながら、主体的に遊びや生活を進める	夏の体験や遊びを通して感覚や表現を豊かにし、心身を開放して伸び伸びと活動する。 『体験・解放』 ・夏ならではのダイナミックな遊びや感覚的な体験が豊かになる ・心と体が大きく解放され、発想の広がりや大胆さが見られる 夏ならではの経験を楽しみながら、仲間と主体的に活動を深める	継続的な遊びや共同の活動を深め、仲間と考えを出し合いながら目的をもって取り組む。 『深化・共同の力』 ・遊びや学びがぐっと深まり、「継続」「工夫」「目的意識」が育つ ・仲間とともにつくる経験（行事・製作・共同活動）が充実 仲間と相談しながら、自分たちで考え解決し、遊びや生活を深めていく	これまでの経験を自信につなげ、見通しをもって生活を組み立てながら就学への期待をもつ。 『統合・就学への橋渡し』 ・これまでの経験がまとまり、見通しをもって行動できるようになる ・自信・自立・他者との関わりが安定し、小学校への期待と準備が整う 見通しをもって挑戦し、仲間と励まし合いながら成長を確かめる
心も体も元気に動く子ども	 遊びや生活の中で、安心して心と体を動かし、感じたことを自分なりに表そうとする。	心と体を十分に働かせ、戸外や遊びの中で体の使い方を試しながら表現する。	水や自然などの体験を通して、心も体も大きく動かし、感じたことを表現する。	目的をもって活動に取り組み、心と体を調整しながら動く。	生活や活動の流れを自分で意識し、心と体を整えながら過ごす。
自分も友達も大切にできる子ども	 ありのままの自分を受け止めてもらいながら、新しい友達や身近な人に親しみをもって関わろうとする。	友達との関わりが深まり、思いの違いや存在の多様さに少しずつ気づき始める。	一緒に過ごす中で、友達の様子や気持ちに気づき、支え合おうとする。	友達との関係の変化を経験しながら、認め合い、共感しようとする心を育てる。	これまで築いてきた関係を大切に、周囲への思いやりをもって関わる。
自分でやってみようとする子ども	 安心できる環境の中で、生活や遊びに自分の意志で関わり、「やってみよう」とする。	試行錯誤しながら、自分なりに工夫し、繰り返し挑戦しようとする。	興味をもったことを何度も試しながら、自分なりのやり方を見つけていく。	自分の考えをもちながら、友達の意見も取り入れ、役割を果たそうとする。	これまでの経験を自信に変え、困難や変化にも向き合おうとする。
自分たちの未来をつくる子ども	 年長児としての生活に期待をもち、新しい毎日を前向きに受け止めようとする。	見通しをもって活動に取り組み、「次はどうするか」を自分で考え始める。	体験から得た気づきを大切に、次の遊びや活動につなげようとする。	身近な課題に向き合い、話し合いを通して新しい考え方や行動を生み出す。	身近な社会とのつながりを感じながら、自分たちのこれからを思い描き、新しい一歩を踏み出そうとする。
架け橋期に大切にしたい経験	・自分でやってみる ・友達と関わる ・思いや考えを表現する ・体験から学びを見い出す				
環境構成・保育者の援助	環境に慣れ、主体性の芽を育む 「安心の土台」と「自分で始める経験」	挑戦と自立 「自分で考え、やり遂げようとする」 「友達と支え合う」経験	体験が広がり、感性が豊かになる 遊びを通して「発見→試す→気づく」という学びの原型が強まる	共同的に深め、考えをつなぐ 「友達と考えながら進める経験」が、1年生の学習の基盤につながる	経験を統合し、就学への期待を高める 「できるようになってきた自分」に気づき、次のステップへの意欲が高まる
保護者支援	安心感 主体的に関わる	居場所づくり 気持ちの言語化	・やってみようとする気持ち ・挑戦する楽しさ ・友達とのやりとりの広がり	・体験の深まり ・自然への気づき	・感覚を使う遊び ・大胆に表現する
人とのつながり	子どものつながり（交流活動） ●家庭とのつながり ＊地域とのつながり	幼稚園で一緒に遊ぼう（保幼交流） 保育園で一緒に遊ぼう（保幼交流） ●保護者会（年3回）※小学校との連携について説明 ●親子遠足 ●保育参加＆個人面談（年2回程度） ＊わくわくげんき・うたがいっぱいコンサート・楽器で遊ぼう♪などに、ご招待（近隣園含む）	体験から学びを見い出す	合同子ども会（保幼交流） あきまつりに行こう（保幼小交流） 一緒に遊ぼう（保育園交流） 行ってみたいな小学校（保幼小交流） ●運動会 ●生活発表会 ●連合作品展 ●卒園式・修了式	●卒園式・修了式
保育者、教育者同士のつながり	保幼小合同研修会	園公開	学校区連絡会	園公開	学校区連絡会

●幼児期の終わりまでに育ってほしい姿●

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え
自然との関わり・生命尊重	数量や図形、文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現		

●千代田区が大切にしたいポイント●

(ア) 子どもの心の安定を図るため、身近な大人の応答的な関わり (イ) 自分の興味や関心のあることに、夢中になって遊びこめる環境 (ウ) 困難を乗り越えたり、葛藤を繰り返したりできる環境 (エ) 身近な自然現象や自然物に触れ遊びにとり入れられる環境（自然に親しむ） (オ) 植物の生長や生き物に触れることのできる環境（自然に親しむ）	(カ) 体を動かす心地よさや楽しさ味わえる環境（体を動かす） (キ) 思い切り遊ぶことのできる環境（体を動かす） (ク) 自分の気持ちを表現する楽しさや大切さを感じられる環境 (ケ) 一人一人の思いや考えを尊重しあい、皆で一緒に考えられる環境 (コ) 目的を共有し友達と一緒に達成感を味わえる経験につながる環境 (サ) 自己有用感を感じられる環境
--	--